

12月定例会の概要

12月1日～19日の19日間

一般質問議員 16人

12月8日(金)	12月11日(月)	12月12日(火)	12月13日(水)
山田 正彦 中 拓哉 中本 浩精 秋月 史成	坂本 登 岩田 弘彦 奥村 規子 片桐 章浩	長坂 隆司 菅原 博之 雑賀 光夫 堀 龍雄	中西 峰雄 川畑 哲哉 前芝 雅嗣 尾崎 要二

会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会……………12/13

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	2件	平成29年度和歌山県一般会計補正予算等	可決
条例案件(議員提出)	1件	和歌山県手話言語条例	
条例案件(知事提出)	6件	和歌山県個人情報保護条例及び和歌山県情報公開条例の一部を改正する条例等	認定
決算案件(〃)	2件	平成28年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等	
その他案件(〃)	19件	平成29年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
専決処分報告(〃)	1件	平成29年度和歌山県一般会計補正予算	承認

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

IR誘致の方針

問 知事が懸念するギャンブル依存症対策について、政府が示す対策に加え、今後予防の観点から本県独自の対策を検討するなどとした上で、事業者として足かせとなる「外国人専用カジノ」という方針を転換してはどうか。

答 「外国人専用カジノ」の見直しは、今後上程されるIR実施法案において国民が納得できるような依存症対策が確立されているかどうか、慎重に見極めていきたいと思えます。それまでは、日本人はカジノ施設に入場させないという方針も、まだ意義を失ったわけではないと思っております。

IR
統合型リゾート(IR: Integrated Resort)の略称で、カジノ施設及び国際会議場やホテル、商業施設などが一体となった複合観光施設

がん先進医療体制の整備

問 手術不可能ながんが粒子線治療で劇的に改善した例があるが、本県でも粒子線治療の体制を整備すべきではないか。

答 近畿の粒子線治療施設は、平成30年度で6施設となる予定です。仮に県立医科大学附属病院に整備する場合、運営収支が赤字になるため現在まで整備に踏み切れていません。今後は、近隣施設との連携を進めるとともに、粒子線治療の有効性や技術革新によるコストダウンの状況も見極めながら整備の可能性を探り、チャンスと判断した場合には積極的に対応していきます。

熊野牛の増頭に向けた取組

問 熊野牛の販売数を増やしていくべきと考えるが、増頭に向けた取組について伺いたい。

答 農家の高齢化等により全国的に子牛生産が減少しています。このため、県では繁殖雌牛の増頭支援や受精卵移植技術の活用による子牛の増頭に取り組み、また、ブランド力を高めるため、親牛の能力をデータ化し、農家が活用することによる肉質向上に向けた取組も行っているところです。今後も各種補助事業や試験研究の実施に加え、品質向上の取組により熊野牛の増頭を支援していきます。



国道370号の整備

問 国道370号の九度山町矢立交差点までの現在の整備状況と今後の整備はどうなっているのか。

答 九度山町域で特に狭隘(きょうがい)であった赤瀬橋の架替(かかえ)工事が平成29年3月に完了し、現在、取付護岸等の工事を行っています。高野町域では6カ所を事業化し、用地取得が完了した箇所について今年度から路側工事等に着手しています。今後も、大型観光バスの対向が可能となるよう、特に交通の支障となる箇所を優先した整備を検討していきます。

空き家対策

問 空き家を取り壊す意思があっても経済的理由などのため取り壊すことができない相続人のために、取り壊し費用等の支払方法に対する提案ができないか。

答 市町村では、空き家の相続人等に対して必要な措置をとるよう助言・指導等をする際、みずから助成制度を設けている場合には、その活用を助言するほか、空き家の相続時の譲渡所得控除等の税制優遇措置や解体工事に係る金融機関の融資制度を情報提供しています。今後とも市町村や関係団体と連携しながら、空き家所有者みずからがその対策に取り組みやすいよう、相談体制の充実など環境整備に努めます。

日本遺産の認定

問 道成寺やそれを取り巻く歴史、伝統が日本遺産の認定を受けるための地元で行っている取組に対する知事の見解はどうか。

答 現在、道成寺を中心とした日本遺産の認定に向け、文化庁との間で協議中です。安珍・清姫の物語でゆかりのある熊野古道沿いの地域も巻き込み、広域的な地域で日本遺産として認定されれば、さらに地域の魅力が増幅するものと考えています。



道成寺の三重塔 (日高郡日高川町)

アニメ・ゲームで聖地化している県内素材の利用

問 アニメやゲームの登場人物の活動地などは「聖地」化され、ファンが大勢訪れている。観光やまちおこしの素材としてどう活用していくのか。

答 アニメやアイドル、コスプレなどへの関心が高い若年層に対して、専門誌への聖地巡り記事の掲載やアニメ実写化のフィルムコミッション活動など、積極的に取り組んでいます。今後とも、女性を中心とする若年層の嗜好の変化や動向を注視し、ニーズに合わせた施策を実施して積極的に観光客に努めていきます。



アニメのような風景「友ヶ島砲台跡」

サイクリングの活用による観光振興

問 広域的な楽しみ方ができるサイクリングを活用して、近隣府県と連携した観光振興につなげてはどうか。

答 本県の「紀の川サイクリングロード」と奈良の「ならクル吉野川ルート」をつなぐ推奨ルートができており、協働で自転車周遊マップを作成しています。最近では、大阪府岬町から和歌山市加太へのサイクリストも増えていることから、自転車を活用した誘客を積極的に行っている近隣府県や市町と連携していきます。